

公表

事業所における評価総括表

○事業所名	煌光学園			
○保護者評価実施期間	2026年7月11日 ～ 2026年7月18日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	46	(回答者数)	18
○従業者評価実施期間	2026年7月11日 ～ 2026年7月18日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数)	4
○事業者向け自己評価表作成日	2026年7月31日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	寄り添った支援と高い安心感・信頼関係の構築	丁寧で臨機応変な個別サポート、保護者への心強いメンタル支援を実施。 のびのび過ごせる居場所づくりにより、多くの児童が楽しみに通所している。	子ども一人ひとりの「安心できる居場所」を維持しつつ、日々の行動観察や関わりをさらに深め、個々の成長に合わせた最適なアプローチを継続・発展させる
2	関係機関・学校・保護者との密な連携	学校のケースカンファレンスや連絡調整、保護者との頻繁な面談・即時報告（怪我等の電話連絡含む）を実施	外部機関との情報共有をより洗練させ、一貫した支援体制を一層強化する
3	安全管理・プライバシー配慮・自己研鑽の意識	安全計画やヒヤリハット共有、BCP策定、個人情報保護の徹底 オンライン研修等を活用した職員の資質向上。	パソコン内マニュアルの印刷・掲示による見やすい環境整備や、安全計画の家族への周知強化、研鑽の継続を行う。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	運動療育・活動スペース利用に関する配慮と公平性	音・振動に敏感な児童への配慮から階上での運動活動を制限していることで、十分な運動療育が受けられないと感じる保護者がいる	階下への防音・防振対策の見直しや、静かな空間と身体を動かす空間の時間帯・エリア等の運用工夫を検討し、どの児童も公平に必要な支援を受けられる環境を整える。
2	組織的運営体制（PDCAサイクル・ミーティング）の不足	退勤時間の違いや機会の固定化ができていないため、運営方針の協議や業務改善（PDCA）を定期的に行えていない。	定期的なミーティング枠の確保や情報共有ツールの活用により、全職員が参画できるPDCAサイクルと業務改善の体制を確立する。
3	地域交流・家族支援・第三者評価等の取組不足	地域（他児・児童館等）との交流機会や家族支援プログラム（ペアトレ等）が不十分。	スケジュールを計画的に策定し、保護者ニーズに応じた家族支援や地域連携を進めるとともに、第三者評価の受審に向けた準備を進める。